

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
歴史総合	2	2	明解 歴史総合（帝国書院）	明解 歴史総合ノート（帝国書院）

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
b 思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。
c 主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身につけている。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価とする。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	5	第1部 歴史の扉 ・歴史とわたしたち ・歴史の特質と資料	○	○	○	12	15	第4部 グローバル化と私たち ・冷戦で揺れる世界とソ連 ・多極化する世界 ・グローバル化のなかの世界と日本	○	○	○
5	25	第2部 近代化と私たち ・江戸時代の日本と結びつく世界 ・欧米諸国における近代化 ・近代化の進展と国民国家形成 ・アジア諸国の動揺と日本の開国 ・近代化が進む日本と東アジア	○	○	○						
9	20	第3部 国際秩序の変化や大衆化 と私たち ・第一次世界大戦と日本の対応 ・国際協調と大衆社会の広がり ・日本の行方と第二次世界大戦 ・再出発する世界と日本	○	○	○	3	5	第5部 学習の振り返り	○	○	○
			○	○	○						
計 70											

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・プリント・ファイル・ワーク・筆記用具を準備してください。授業中に行くのはやめましょう。
- ・忘れ物は、1校時開始前までに申し出てください。
- ・遅刻や欠席に関して、学校の基準以内であれば直接の減点はしません。
- ・プリント提出・課題提出は期限を厳守してください。減点対象とします。
- ・プリントを穴埋めするだけでなく、疑問や考えを記入したり、不明な点は自分で調べてメモをしたり、自主的に学習しましょう。
- ・クラスメイトの学ぶ権利を奪う行為や向上心のない言動は慎んでください。

